

出水期の災害に備えましょう!

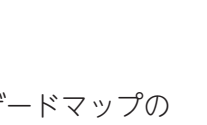
6月から10月は梅雨や台風による風水害・土砂災害が起こりやすい時期です。
いざという時に自分や家族の命を守れるように備えましょう。

●避難情報の発令について

気象状況に応じて、気象庁と市から5段階の避難情報(警戒レベル)を発表・発令します。お住まいの地域のハザードマップやお近くの避難所との距離などを確認し、避難の必要がある場合はどのタイミングで避難するか決めておきましょう。また避難する場合は必ず警戒レベル4 避難指示までに避難をお願いします。(※レベル5の緊急安全確保とは、既に安全な避難ができない状態であるためです。)

なお、ご自宅が洪水の浸水エリアに入っていないなど安全を確保できる場合は、原則避難の必要はありません。



警戒レベル	新たな避難情報等	
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b>
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

市からの避難情報(警戒レベル3～5)  
については下記の媒体で周知します

- ・緊急速報メール
- ・市公式LINE
- ・市ホームページ
- ・市民安全メール(登録制)
- ・防災情報電話配信サービス(登録制)

ハザードマップの  
確認はこちら⇒



避難情報の所得方法  
はこちら⇒



自分や家族の命を守るためには、正確な情報をいち早く得ることが大切です。被災時は、本市をはじめ国や県、報道機関などが様々な手段で情報を発信します。いざという時の情報源を確認しておきましょう。

## ●家庭での備え

災害時の停電や断水に備え、各家庭でも非常食等の準備をしておきましょう。また、非常食でなくとも普段から少し多めに食材や加工品を買っておき、食べたら食べた分だけ、使ったら使った分だけ買い足し、常に一定の量を家庭に備蓄しておく「ローリングストック法」を活用することもお勧めです。



問合せ＝災害対策課 災害対策係 (内線629)